主な意見と反映状況

270930戦略会議

資料３

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 意見 | 反映状況（考え方） |
| 推進本部 | * 【人口ビジョンP41/42】人口の将来展望について、高齢化率を抑えることを強調しすぎると、高齢者を否定しているような印象を与えかねない。表現を考慮すべき。 | P41若い世代が高齢者をしっかりと支えるということを記載。P42のグラフの高齢化率の吹き出しを薄い文字に。 |
| * 【以降、総合戦略】P16　重点プロジェクトのKPI　大東市の印象について、良い、やや良いと思っている人の割合　市内在住者の目標値低すぎる。（１８％アップ） | 80％に修正 |
| * 文化の視点を加えてはどうか。 | 文化の概念はかなり広く、まち・ひと・しごとの範疇を超えた取組になるため追加しない。 |
| 懇談会 | * 母親が働くことばかり書いてある。子育ては、父親も一緒にするもの。父親視点の取組も必要ではないか。 | 趣旨は盛り込み済。  P12　基本目標１の「子育て世代の就労環境整備」の文章を変更。また、起業の啓発・表彰・認定制度の創設の対象として「（父親・母親の育児休暇制度取得促進等）」を追加。 |
| * 第２子出産をためらう声は多い。また、高齢になってから第２子出産をする場合のリスクも高まる。大東市であれば、安心して産めるという環境を整えることが子育て世代の定住・流入につながるのではないか。 | 趣旨は盛り込み済。  P21基本目標３の文章中で、アンケート結果を踏まえ、それぞれのライフプランを描き実現できるまちについて記載。 |
| * 道路環境が悪く、徒歩や自転車などで通行するときに危険を感じるところが多い。安心、安全な道路空間の確保が必要。 | 基本目標４の中でバリアフリーおよび自転車道整備については記載済。Ｐ34基本目標５の中でも、自転車道整備や生活者視点の交通システムについて、再掲した。 |
| * 保育環境についての取組は記載があるが、就学後の放課後の居場所づくりの視点が書いていない。盛り込むべきではないか。 | マニフェストロードマップの内容を参考に記載 |
| * 小中一貫校について、既存の小中学校を一貫校にするのか、それとも新たな学校を創設するのか。大東市の強みである龍間の自然を活かした学校を創ってはどうか。 | 小中一貫校の創設については、これから具体的な検討を進めていく予定。いただいた意見を参考にする。 |
| * 人口１３万人というのはかなり厳しい目標ではないか。 | 市が重視しているのは、人口総数よりも年齢構成比である。高齢化率を抑えるということは、高齢者がこのまま安心して暮らせるよう、それを支える若い世代に多く来ていただいて、高齢化率を維持するということ。若い世代の流入は長い目で見ても人口構成バランスの維持に貢献する。  とはいえ、この時代にあって人口増加を掲げることは非常に高いハードルであるということは十分認識している。敢えて高いハードルを示しつつ、それに向けてどんなまちづくりを進めていくかということが肝要であると考えている。 |
| 各部意見 | * 基本目標４および５に関して、車から公共交通利用へのモーダルシフトを図るべき。ついては、KPIの指標を①各交通手段の分担率　②コミュニティバス経費率にしてはどうか。 | KPIについては、交通手段としてコミュニティバスのあり方も含めて今後検討していく必要があり、使用しない。  P34　（１）歩いて進める健康づくりの中に「歩いて行ける範囲および自転車整備による生活利便施設の効果的な立地誘導と、生活者視点の交通システムを構築し、歩くことを中心とした暮らしを構築する」を追加 |
| * P24「不妊症・不育症についての啓発・支援を行う。」については、啓発は行っているが現状では助成金などの支援は行っておらず決定もない。 | 「啓発を行う」に変更 |
| * P24　KPIのうち、「飛び込み出産０件」を「妊娠者全員に母子健康手帳、妊婦健診の助成」に変更 | 意見どおり修正 |
| * P33　日常的な健康づくりの場の創出のうち、具体的な事業を追加   （３）健康づくりを広げる人材育成  だいとうシニア健康大学などを通じて、食生活改善推進協議会やウォーク応援団など、地域で健康づくりに取り組む人材を育成する。  KPI　だいとうシニア健康大学受講生の累計　⇒80名 | 意見どおり修正 |
| * P34　「段差の解消など誰もが歩きやすい公園を整備する」というのは、具体的には公園のバリアフリー化のことか。 | 公園のバリアフリー化を想定 |
| * P34　１日3,000歩、通算150日を促すエンジョイウォークを実施する。   を「日常的に歩くことを推奨するエンジョイウォーク事業を実施する」に修正 | 意見どおり修正 |
| パブコメ | * P23/29に次の事業を追加   ○都市公園、児童遊園、緑道の美化の徹底  ・1年中、雑草が生えていない美しい魅力ある公園  ・公園トイレの早期バリアフリー化（車いすトイレの整備）  ・アドプト制度の積極普及周知活用  ・公園清掃管理報奨金の廃止  ○公園管理の徹底と魅力ある施設の整備 | P23およびP29に次のとおり追加  ・公園等身近な公共施設は、地域との連携を図りながら、子育て世代に魅力ある施設になるよう維持・管理を行う。 |
| その他 | * 人口ビジョンP44・P46　総合戦略P2   大東スタイルの確立という文言について再精査し、「5年間で大東スタイルを実現し、2060年には大東スタイルが確立されている」という整理を行った。   * P6　 官民連携のまちづくりの中で、「行政の側面支援」という言葉をより具体的にするため、「市民や民間が活躍できる環境整備」という表現に変更。 * P9　 子育て世代の転入者アンケートの内容を追記。 * P14　基本目標２の数値目標について、「○○人増加」より   　　　交流人口を「●●人」と表記。   * P20　子育て世代の転入者アンケートの内容を追記。 * P21　大学生アンケートの内容を追記。 * P23　空家相談会について追記。 * P26　数値目標「日常生活サービス徒歩圏充足率」から「公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合」に変更   理由：従前の指標は、継続把握が困難なため   * P26　文章中の文言のうち、市域の中でも差があることを記載。 * P29　「大東市版の住宅情報サイトを創設する。」については、不確定要素が多いので削除。 * P30　（２）まちづくりを担う人材育成　の文言をより具体的に記載。   （まちづくり人材育成講座、学生向けプログラム） |  |